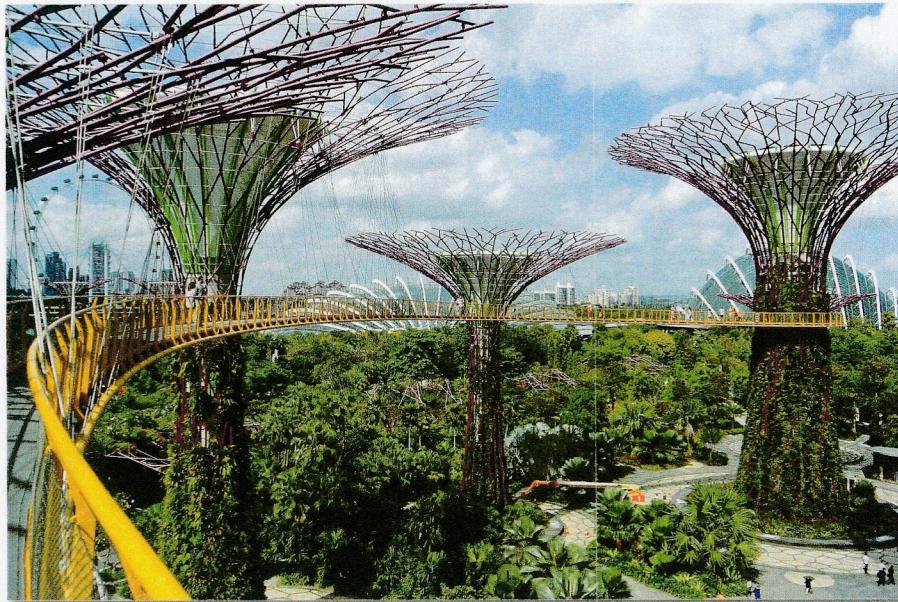


# 黒字経営のMICE関連の仕掛け



A シンガポールの『ガーデンズ・バイザ・ベイ』

大西市長へ  
12月議会中の提案書

B 田尻市長時代の水族館構想

## 『森の都』『水の都』のMICEを創る！

ガーデンパーク

水族館

私は闇雲にMICEに反対する者ではありません。ただ人口減少社会の中、これ以上、市や国の借金を増やすにはやるべきだと申し上げているのです。

熊本市のMICEは3千人のホールを中心とした貸館業です。国内外から沢山の会議を誘致しようと/or>もので、先進市は福岡市・横浜市・札幌市等です。特に福岡市は全国No.2の座を5年続けています。

今回熊本市の参入は全国でも最終ランナーに位置し、20年も先を走っている福岡市の隣市で国際会議を誘致するには無謀と言えます。何故なら国際会議の誘致には4~5年は掛かると言われていますし、また1年内に230日利用が無いと赤字なのです。大西市長はコンサートで穴埋めしようと努力されていますが、前任者からの宿題は熊本市126年の歴史上最大の箱物事業ですか『茨の道』必至です。

【提案書】  
ではMICE+新施設での黒字経営案を説明します。

①隣接地の市民会館と国際交流会館を利活用します。  
この市民会館の増改築と国際交流会館で2千800名

のパイは確保できますし、会議室も現計画の6割は市民会館エリアで確保できます。(予算70億円)  
②今、日本人は楽しいと安らぎの二つを好みます。その最たる物がディズニーランドと水族館です。熊本市は上の写真Bの水族館の構想をH5年に作っています。これを利用し「淡水水族館&海洋海獣水族館」を作ります。実は水族館で一番の経費は海水なのです。だから人口減少で近年余り始めた地下水利用で淡水水族館が経済的です。また海洋海獣(ベンギン・オタリイ・白くま等)は熊本動物園に在住しています。(予算80億円)  
③日本人の一番のツボは、日本一・世界一・日本初です。その様な意味から上の写真Aのシンガポールの「ガーデンズ・バイザ・ベイ」風の斬新なガーデンパークを作るのです。(予算150億円)

どうですか？今、日本の水族館人口は3千5百万人、その7割は大人です。また入場料は2千円以上頂けます。さらには斬新なガーデンパークは日本初ですから注目度は抜群です。最初にした者が最大の利益を得るのは商道の常です。これが黒字経営の仕掛けです。

## はじめに



早春の風はまだ寒氣を含んでおりますが、皆さま方にはいかがお過ごしでしょうか。海の向こうでは多数のナラズ者達が自分の正義をかさしまぐ人々の命を奪っています。彼らを報道を通じてこの目にし

ますと、日本に生まれて本当に良かったと思う反面、戦後70年、これほど暴力や戦いに免疫力のない国民ばかりになってしまい、これからどう国際社会の中で無事生き抜いていけるのか、不安がよぎります。このまま平和なり必ず争いが始まります。そ

日本が続けば良いのですが、たとえば、日本では人口減少と騒いでいますが、世界では人には10億人を突破します。そうなりますと食糧も水も足りなく

の時どうするのか、今から考えて措かなければなりません。

アベノミクスが成功しても失敗しても、今のような税金をむやみにバラマキ、借金を増やす政策は「格差社会」を拡大させるばかりとれます。

熊本市においても3年前より、本市の10年計画である総合計画にも記載の無いMICE事業を推進していますが、前回の報告書よりも借金が増えると市から示されました。(裏面参照)  
MICEの借金は熊本市の全借

の時どうするのか、今から考えて措かなければなりません。必至です。労働者人口減による税収減さらには社会保障費等のソフト政策の増大と二重苦になると分つていて、なぜ借金を莫大に増やすのか理解ができないと予期していたそ�で、その無策には残念の一言です。

今回の議会報告書では12月議会中に私が大西市長に提出したMICE+新施設による黒字経営の提案書についてお話しします。

# 落水きよひろレポート

早春号



# 落水レポート



## 政務報告書

### 人口減少社会問題の先駆者たち！

そもそも日本の人口減少はいつから始まったのか、と質問しますと、多くの方々が「ここ数年でしょう」と答えられます。しかしそれは正解ですが、間違った答えです。何を訳の分からない事を言っているのかと思われるかもしれません、人口を減少させない出生率は2.07以上と言われています。

では、国内出生率が2.07を下回ったのはいつか、何とそれは昭和49年（1974年）のことなのです。では何故すぐに入口減少は始まらなかつたのか。それは言うまでも無く高齢者が長生きするようになつたからです。

また労働者人口減が始まつたのが20年後の1995年頃からです。丁度、熊本市の水道の使用量が減り始めたのがこの頃からです。人間は年を取れば新陳代謝は落ちますし、大飯ぐらいの高齢者は滅多に居ませんし反対に若者は水を大量に使います。

しかし昭和50年に気が付いていたのに何もしなかつた高級官僚達にも驚くばかりです。でも優秀な公務員さんも居るのです。それは横浜市役所の方々です。今月の熊本議会に、人口減少に対応した公共施設の維持管理利活用に関する議

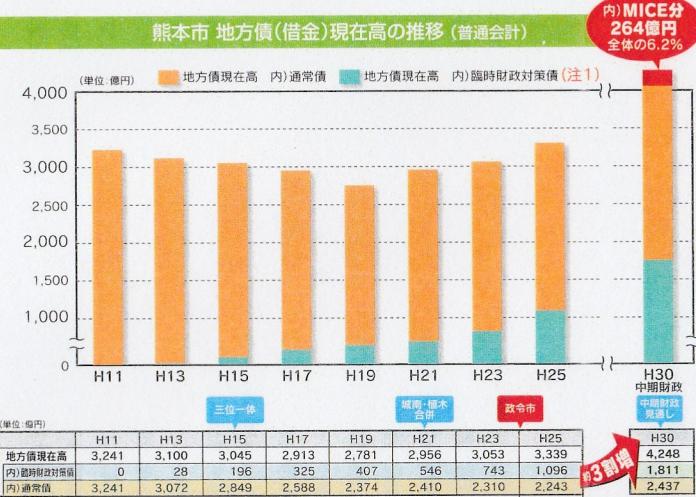


案が出されていますが、これは私が3年前に提言したもので今回やつと日の目を見たのですが、横浜市には8年も遅れました。横浜市役所は本当に凄いですね！



### 危機管理の遅れ！

近年、様々な都市で危機管理が叫ばれています。そのような中、熊本市の危機管理は残念ながら遅れています。一言で言うと対処療法状態です。たとえば市の10年間の計画を示す総合計画の現計画が出来たのは6年前、私は当時自民党的の政策の責任者をしておりましたので、行政に対し「危機管理」を章立てで大きく取り組むべきと提言しました。



### MICE借金が増える！

前回の新年号で大きく取り上げました、MICEの借金が5年後に市全体の借金の5.7%にもなるとご報告した件ですが、今回またさらに22億円増え全体の6%を超えることが報告されました。（左グラフ参照）

市民の皆さんはこれで本当に良いのですか？私は納得していません。しかし他の多くの議員が賛成します

でMICEは一步づつ進んでいます。悔しいですが多数決のルールですのでどうにもなりません。3年前にMICEが初めて議会に出てきた時は多くの議員が「唐突だ。総合計画にも記載が無いではないか、財政は大丈夫か」などと殆ど変わらない、いえ借金が増えるという悪い報告ばかりなのに…。

人口減少社会における地方議員の役割は、労働者人口減による税収減の中、限られた財源を何に使うのか、『選択と集中』の決断ができるなければなりません。

今迄のようない「俺の街だけ良ければよい」などと考える政治家は『子孫に借金を残すだけの最悪の未来を招くだけとなります。次号では『地下水が20年で1.8倍汚れた』を報告します。

## 政務報告書

でMICEは一步づつ進んでいます。悔しいですが多数決のルールですのでどうにもなりません。

3年前にMICEが初めて議会に出てきた時は多くの議員が「唐突だ。総合計画にも記載が無いではないか、財政は大丈夫か」などと言つてましたが、1人欠け2人欠け、今では異論を言う議員は数名となつてしましました。何故こうなるのでしょうか。当初の計画と殆ど変わらない、いえ借金が増えるという悪い報告ばかりなのに…。

人口減少社会における地方議員の役割は、労働者人口減による税収減の中、限られた財源を何に使うのか、『選択と集中』の決断ができるなければなりません。

今迄のようない「俺の街だけ良ければよい」などと考える政治家は『子孫に借金を残すだけの最悪の未来を招くだけとなります。次号では『地下水が20年で1.8倍汚れた』を報告します。

## 熊本市議會議員(7期) 落水きよひろ 第44代 議長歴任

- 昭和31年 花園生まれ、花園小、京陵中、東海大二高、東海(九州)大学卒業
- 野田たけし代議士秘書7年間務め、熊本市議連続7期当選、H6年市長選出馬

※注1) H26.10.2 熊本市議会予算決算委員会インターネット録画をご覧ください。（大西前県議のH25.4.24県議会総務委員会議事録P15も参照）